【委員会名】　文教厚生常任委員会	
【日　　時】　令和８年５月８日（金）　１８時３０分～２０時００分	
【会　　場】　吉和福祉センター	
質疑内容	会場での回答
＜意見、感想＞ ・議会が行政に対してどんどん質問をして欲しい。資料に不記載があればどんどん質問してほしい。	
＜報告会の開催について＞ ・1年に2回開会してほしい。5月と10月がいい。知ったのが遅く6回のうち3回しか参加できないです。全部参加したかったです。（広報）	
＜広報誌さくらについて＞ ・議会傍聴者のアンケート作成、意見を掲載して欲しい。（広報）	
市の借金（市債）が増加している理由	道路などを作る前に市税・国からの補助金を合わせても足りないため借金をする。事業増によるもの
消費税を0%にする場合、レジ変更などに本当に1年もかかるのか。あわせて、消費税が福祉に使われているのか、使途が分かりにくい。市民が納得できるよう使い道を見える化してほしい。	レジの税率設定自体は短時間でできると事業者に聞いたことがあるが、値札・表示物の差し替えに時間がかかるとも聞いた。消費税の使途が分かりにくいという意見は、国政に関わる内容なので意見として受け止め、伝える。
新しい支所ができた一方、旧吉和支所の建物が見苦しい。解体や整理の予算はあるのか。早く対応してほしい。	使わなくなった公共施設の解体には費用がかかり、市全体の公共施設マネジメントの中で順次考える必要がある。今年度予算には該当予算は確認できないが、地元の声として市に伝える。
予算を見ると農林水産業費が少ない。過疎化が進む地域では、農林水産業や中山間地域への支援にもっと力を入れてほしい。（産業建設）	要望として受け止める。農林水産業や地域の農地維持、法人経営の厳しさなど、中山間地域の実情を踏まえた支援メニューの検討を求める声として伝える。
＜意見、感想＞ ・宮島だけでなく吉和をもり上げてほしいです。（産業建設）	
・同一業者に偏らない入札（平等）の実行の監督をして欲しい。	
歳出の教育費が前年度よりマイナスになっている理由	前年度に大規模な工事がありその分今年度はマイナスになっている。今後は校舎のリニューアルや全校へ空調設備導入（吉和地域を除く）が予定されており教育費は増加する見込み。吉和は夏は涼しいが冬の寒さがきびしく断絶材導入などの代替案も調査中
吉和の学校統廃合、どんな形で隣町の学校にいくのか。あまりに急に話がすすんでいるのではないか。保護者からは統廃合についてはやむをえないとしても納得できる条件やフォローを求める声があがっている。	学校がなくなることで特に子育て世代が「吉和に住みづらくなる」という不安に対してPTA・地域・議員・行政も一緒に仕組みづくりに注力したい
吉和のゴルフ場はいまどうなっているのか	（経緯を説明）市の制定した条例には拘束力はないが、規制を守らない事業者への抑制にはなる。
教育現場では、保健室登校、不登校、複雑な児童生徒対応など、先生が対応する課題が増えている。養護教諭の先生も大変ではないか。働き方改革とのバランスも難しい。つながり支援員などの支援は手厚いと聞いている。先生や教育現場への支援をもっと手厚くできないか。	若い教員を支える校長等経験者によるサポートは行われている。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の関与、保健室以外のスペシャルサポートルームなどの対応がある。養護教諭の負担などは現場の実情を聞かないと分からないため、課題認識として持ち帰る。
大野東中学校事故後に連絡方法などのルールが増えたが、実際に現場で運用できるのか疑問だ。ルールを作るだけでなく、マンパワーによる支援が必要ではないか。	小学校にはつながり支援員が入り、廿日市市は支援員配置が比較的手厚い面がある。ただし、教員不足、病休・産休代替、校長・教頭が代わりに対応する実情などは、廿日市市だけでなく広島県・全国的な課題である。
地域で子どもを見守る仕組みや、学校に通いづらい子どもの学びの場について、コミュニティスクールやフリースクールとの関係をどう考えるか。	学校に通っていなくても、フリースクールに通うことで卒業証書を得られる扱いが進んでいる。また、近隣の小中学校の図書室や校庭を使うことについては、学校長との協議により可能との答弁を得ているが、利用する側が望むかどうかも前提になる。
吉和の小中一貫校・学校統廃合の問題について、今どうなっているのか。議員や市がどう考えているのかが地域に伝わっていない。吉和から通うのであれば、地域を離れる人もいると聞いている。	昨年7月の発表後、保護者説明会、地域説明会、PTA等との質疑応答を行ってきた。新年度に入り、コミュニティ、学校、保育園、教育委員会で話し合いを行い、保育園保護者向け説明会も検討している。教育委員会は統合の方向で進めたい意向だが、保護者意見を集約し、最終判断は教育委員会で行われる。
クヴェーレ吉和の事業停止について、議会や市はどう考えているのか。今後の雇用、娯楽、地域への影響が心配である。	クヴェーレ吉和は公の施設ではなく民間施設であり、議会も事前に詳細を聞いていたわけではない。今後についても、直ちに議会が具体的に動ける状況ではない。地域の意見を聞きながら状況把握する必要がある。

質疑内容	会場での回答
学校統廃合の進捗が地域に伝わってこない。学校だよりや議員の広報などで、ポイントごとに知らせてほしい。	教育委員会は保護者向け説明が中心になりがちだが、地域全体で考える必要がある。議員の広報通信などでも知らせられるところは知らせるようにしたい。老人クラブ、女性会、地域団体なども含めて声を広げることが重要である。
メガソーラー条例が制定されたことで、ほぼ設置できないと考えてよいのか。それとも業者の対応次第では可能なのか。ゴルフ場再開を希望する業者が出た場合、市は支援できるのか。	条例は法律を超えられず、設置禁止条例ではない。地域への説明、理解、維持管理などに制限を設けるもので、法令違反等がなければ完全に止めることは難しい。ゴルフ場再開も民間同士の契約の問題であり、市が直接介入・支援することは難しい。
予算を見ると農林水産業費が少ない。過疎化が進む地域では、農林水産業や中山間地域への支援にもっと力を入れてほしい。（総務）	要望として受け止める。農林水産業や地域の農地維持、法人経営の厳しさなど、中山間地域の実情を踏まえた支援メニューの検討を求める声として伝える。
9月にもみのき森林公園でバイク等のイベントを計画している。地域や町内会、商工会と連携し、地元の協力を得ながら進めたい。	イベントは地域との信頼関係づくりが重要である。支所を通じた町内会との顔つなぎ、商工会との連携、地域説明を進めることが望ましい。
条例にある「地域と調和する」とは、賛成が多ければ進むという意味か。少数の反対意見はどう扱われるのか。	条例は、事業者に地域住民への説明と意見把握を求める趣旨である。反対意見の方々が納得できるか、妥協できるかなどは事案ごとに異なる。住民の意思表示が重要であり、署名など形にして示すことが必要になる場合がある。
＜意見、感想＞ ・宮島だけでなく吉和をもり上げてほしいです。（総務）	
吉和のゴルフ場跡地について、地域ではメガソーラーに反対する声が強い。雪や有害物質、発電量の問題もあり、絶対反対したい。	声なき声を行政や議会が判断することは難しい。賛成・反対の意思を明確に示すことが重要で、地域や仲間の中で話し合い、署名などにより意思表示することが必要である。
・教育、道の駅的など。人口減少は進行形にあるため、観光で人集めに力を注いで欲しい。	
ゴルフ場跡地・メガソーラーの経過が不明で、反対看板も残ったまま。結局どうなっているのか分からない。議会としての立場や情報発信はどうなのか。	民事裁判などもあり、現状が分かりにくい。議会は条例を制定したが、条例以上に事業を止める権限は限られる。地域の意思表示、情報共有、行政・事業者・住民の説明の場が課題である。
＜報告会の開催について＞ ・1年に2回開会してほしい。5月と10月がいい。知ったのが遅く6回のうち3回しか参加できないです。全部参加したかったです。（議運）	
＜開催場所について＞ ・吉和、佐伯、大野、廿日市、宮島と広く開会されていてよかった。	
＜内容について＞ ・予算、メガソーラーの説明は良かった。5月22日裁判所に傍聴しに行って欲しい。	
＜広報誌さくらについて＞ ・議会傍聴者のアンケート作成、意見を掲載して欲しい。（議運）	
＜意見、感想＞ ・傍聴者への表彰を考えて下さい。	
・議会と住民の意見交換ができるよい機会。 ・良かった ・次回開催時にも参加したいと思いました。	